



第36期第3四半期 決算資料

テクマトリックス株式会社

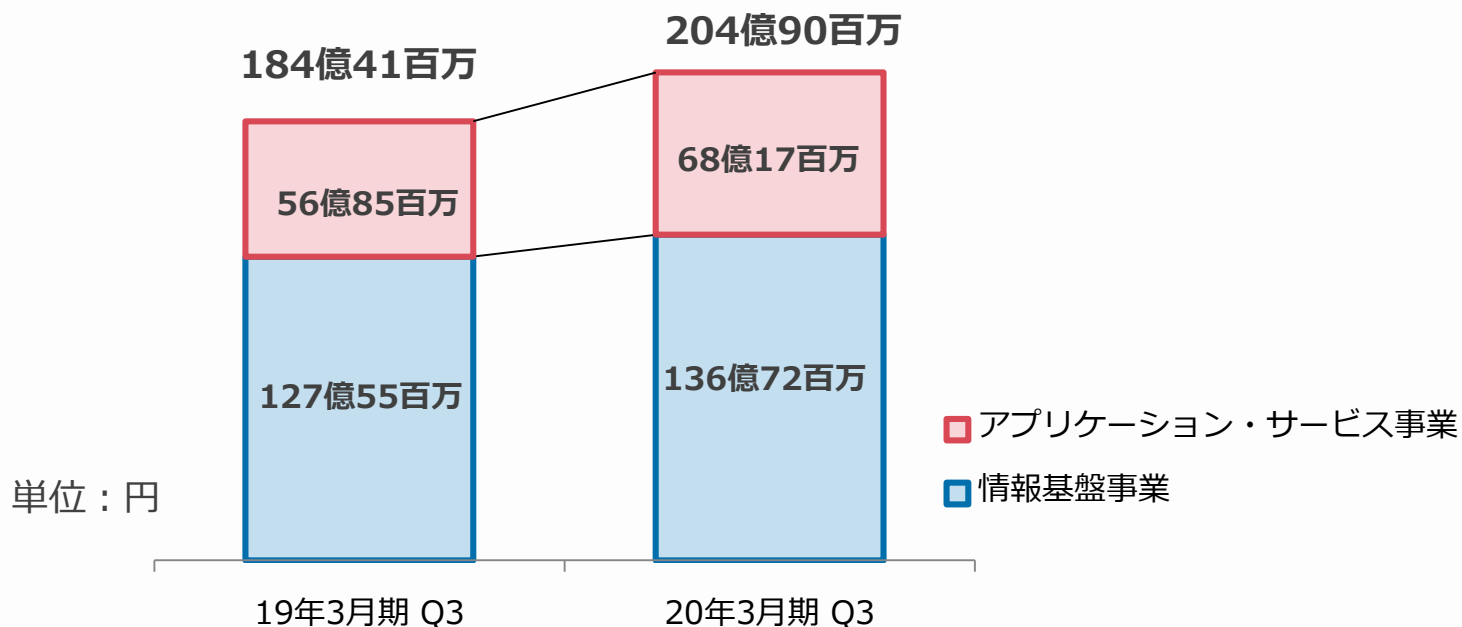
- 1. 第3四半期 業績報告**
- 2. 事業活動トピックス**
- 3. 中期経営計画「GO BEYOND 3.0」**
- 4. 当社のビジネスモデル（ご参考）**
- 5. 市場環境（ご参考）**

1. 第3 四半期 業績報告

- ◆ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも**過去最高**を記録。

| | 2019年3月期 Q3 | 2020年3月期 Q3 | 増減額 | 増減率 |
|---------------------|----------------|----------------|-----------|--------|
| 売上高 | 184億41百万 | 204億90百万 | +20億49百万 | +11.1% |
| 営業利益 | 15億48百万 | 21億01百万 | +5億52百万 | +35.7% |
| 経常利益 | 14億93百万 | 20億94百万 | +6億01百万 | +40.3% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 9億55百万 | 13億58百万 | + 4 億02百万 | +42.1% |

セグメント別 売上高

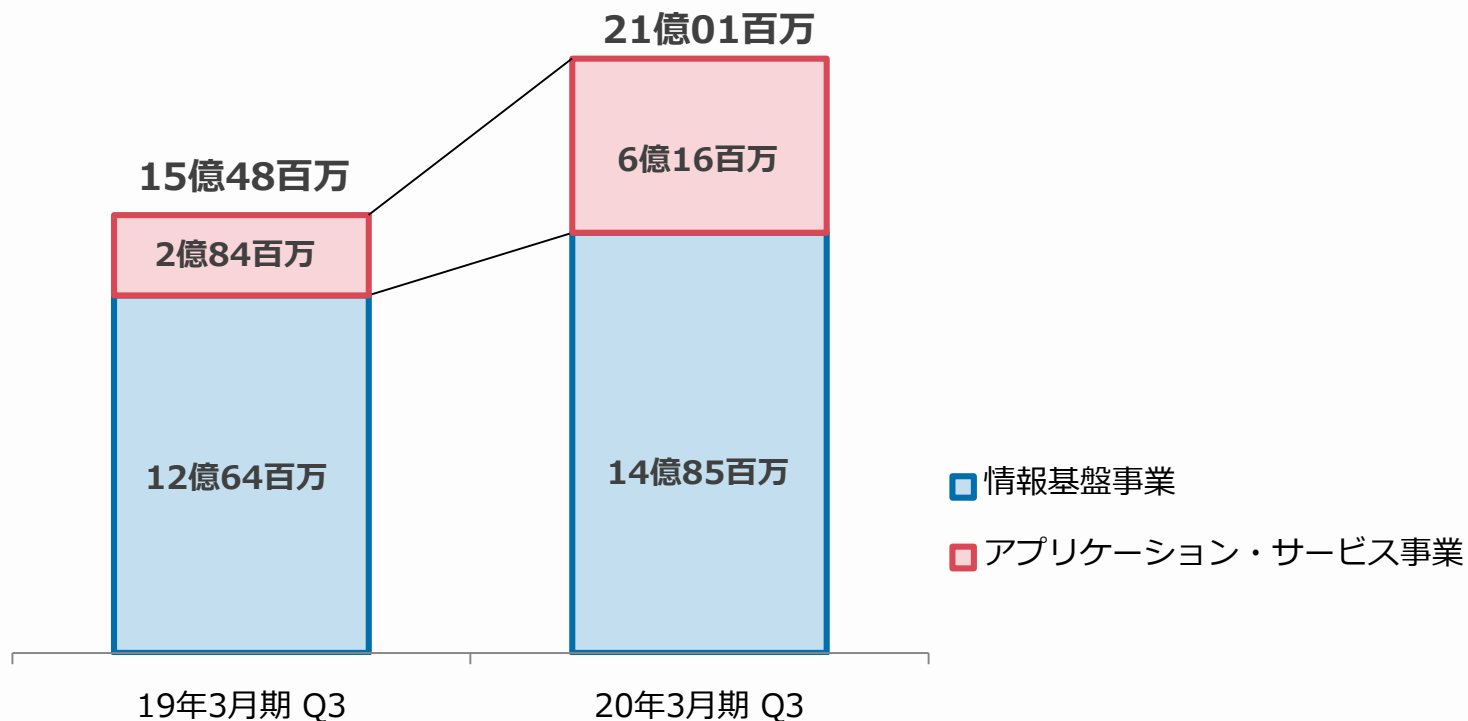


| | 19年3月期 Q3 | 20年3月期 Q3 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-----------|-----------|----------|--------|
| 情報基盤事業 | 127億55百万 | 136億72百万 | +9億17百万 | +7.2% |
| アプリケーション・サービス事業 | 56億85百万 | 68億17百万 | +11億31百万 | +19.9% |

- ◆ 情報基盤事業では、次世代ファイアウォール、不正侵入防御アプリアンス、Webセキュリティ対策製品、次世代メールセキュリティ製品等が好調。売上高は過去最高を記録。
- ◆ アプリケーション・サービス事業では、医療分野、CRM分野が好調。ソフトウェア品質保証分野も堅調に推移。CRM分野では大型案件の受注が増加。売上高は過去最高を記録。

セグメント別 営業利益

単位：円



| | 19年3月期 Q3 | 20年3月期 Q3 | 増減額 | 増減率 |
|-----------------|-----------|-----------|---------|---------|
| 情報基盤事業 | 12億64百万 | 14億85百万 | +2億20百万 | +17.4% |
| アプリケーション・サービス事業 | 2億84百万 | 6億16百万 | +3億32百万 | +116.9% |

◆ 情報基盤事業、アプリケーション・サービス事業ともに大幅な増益。いずれも、営業利益は過去最高を記録。

| ◆情報基盤事業（売上高） | 対前年同期 |
|---------------------------------------|-------|
| 負荷分散装置等 (BIG-IP, EDGE) | |
| 次世代ファイアウォール(PaloAlto, Traps) | |
| アンチウイルス/不正侵入防御/セキュリティイベント管理/Webセキュリティ | |
| 個人認証システム/フォレンジック製品/ストレージ製品 | |
| セキュリティ運用・監視サービス | |
| その他セキュリティ製品 | |
| クロスヘッド・沖縄クロス・ヘッド | |
| ◆アプリケーション・サービス事業（売上高） | 対前年同期 |
| ビジネスソリューション分野（カサレアル含む） | |
| ソフトウェア品質保証分野 | |
| 医療分野（NOBORI、医知悟含む） | |
| CRM分野 | |



+10%以上



+10%未満



±5%未満



△10%未満

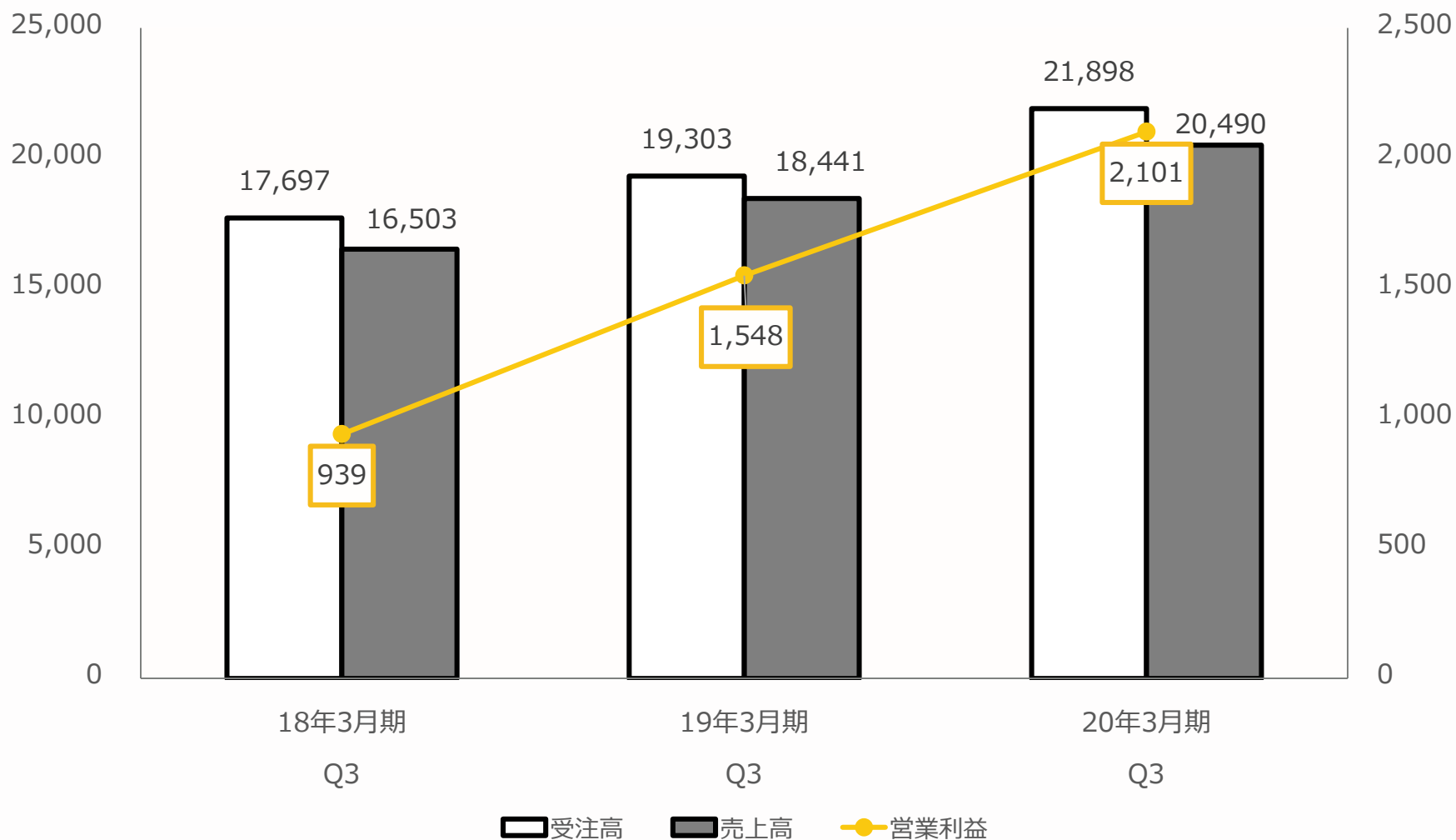


△10%以上

受注高・売上高・営業利益推移

受注高・売上高
(単位：百万円)

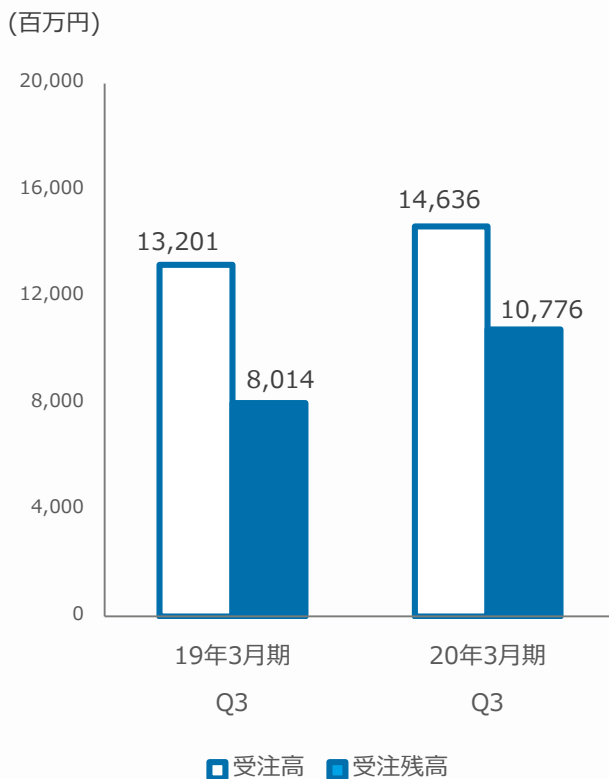
営業利益
(単位：百万円)



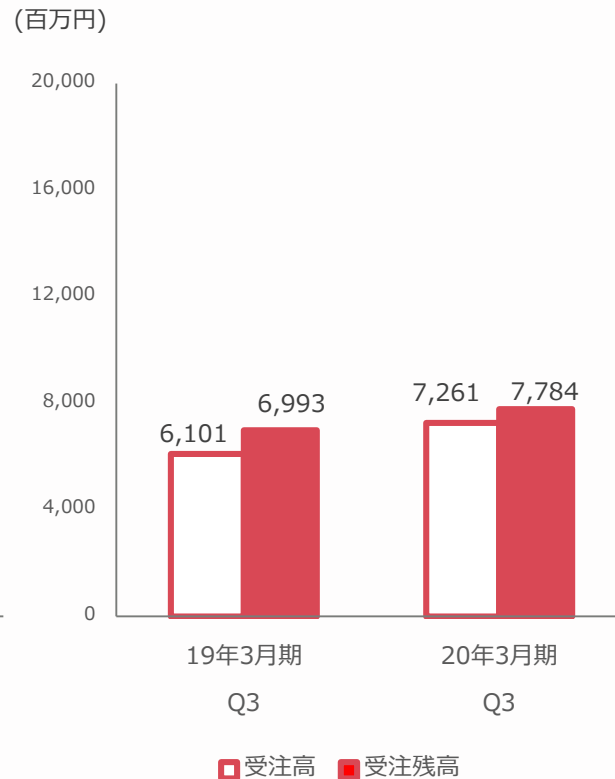
受注高と受注残高

- ◆ 情報基盤事業では受注が堅調に推移し前年を超過（10.9%UP）。受注残も伸長（34.5%UP）。
- ◆ アプリケーション・サービス事業では受注が堅調に推移し前年を超過（19.0%UP）。受注残も伸長（11.3%UP）。

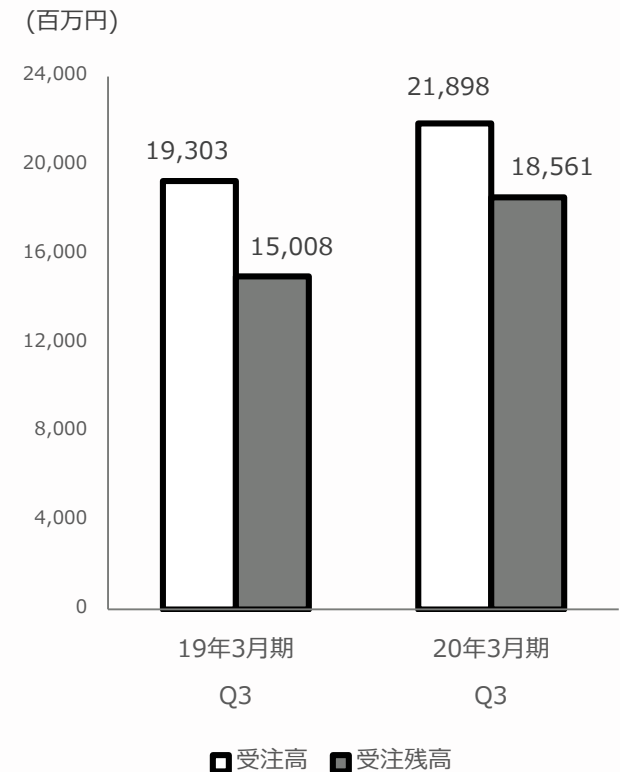
情報基盤事業



アプリケーション・サービス事業



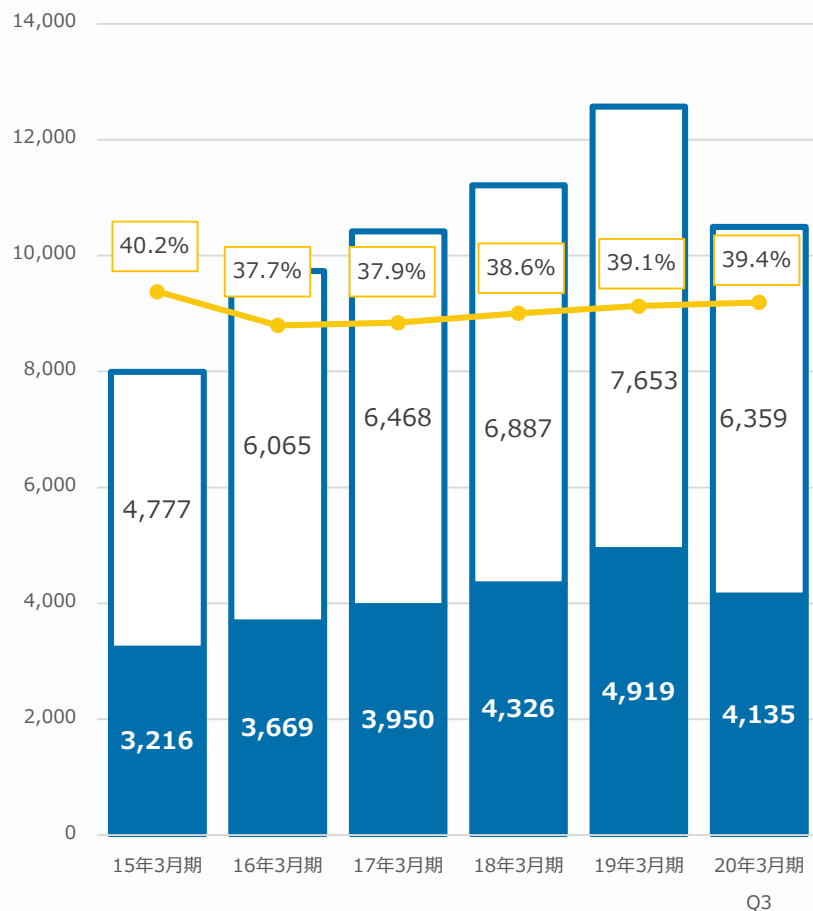
全社合計



ストック比率の進捗状況（単体+株式会社NOBORI）

情報基盤事業

(百万円)

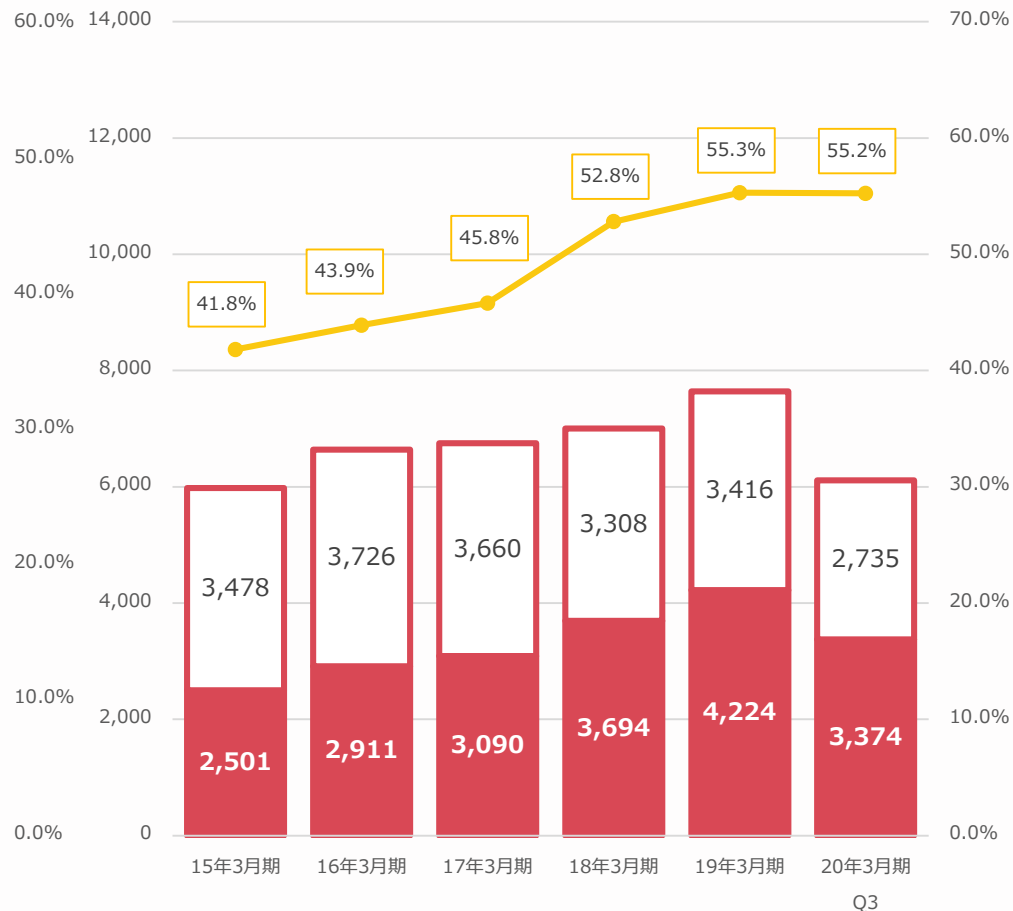


■ ストック ■ 非ストック ● ストック割合

* 情報基盤事業は、適正水準を維持。

アプリケーション・サービス事業

(百万円)



■ ストック ■ 非ストック ● ストック割合

* アプリケーション・サービス事業は、クラウドビジネスの積み上がりにより、ストック比率が伸長。

連結貸借対照表 (B/S)

- ◆ 2018年7月に第三者割当によって発行した行使価額修正条項付き新株予約権の行使（2019年6月に割当数の100%が行使完了）により、現金・預金が増加。

(単位：百万円)

| | 19年3月期 | 20年3月期 Q3 | | 19年3月期 | 20年3月期 Q3 |
|---------------|---------------|---------------|-------------------|---------------|---------------|
| 流動資産合計 | 21,194 | 22,702 | 流動負債 | 10,410 | 10,534 |
| 現金・預金 | 11,802 | 12,578 | 買掛金 | 1,214 | 1,164 |
| 受取手形・売掛金 | 4,787 | 4,817 | 短期借入金 | 450 | 450 |
| その他流動資産 | 4,603 | 5,306 | 1年内返済予定の 長期借入金 | 300 | 275 |
| 固定資産 | 4,539 | 4,986 | その他流動負債 | 8,445 | 8,644 |
| 有形固定資産 | 1,194 | 1,210 | 固定負債合計 | 2,948 | 2,666 |
| のれん | 3 | - | 長期借入金 | 1,150 | 950 |
| その他無形固定資産 | 1,225 | 1,315 | その他固定負債 | 1,798 | 1,716 |
| 投資その他の資産 | 2,116 | 2,460 | 負債合計 | 13,358 | 13,200 |
| 資産合計 | 25,733 | 27,689 | 株主資本 | 11,128 | 13,135 |
| | | | その他の包括利益累計額 合計 | △3 | 43 |
| | | | 純資産合計 | 12,374 | 14,488 |
| | | | 負債純資産合計 | 25,733 | 27,689 |

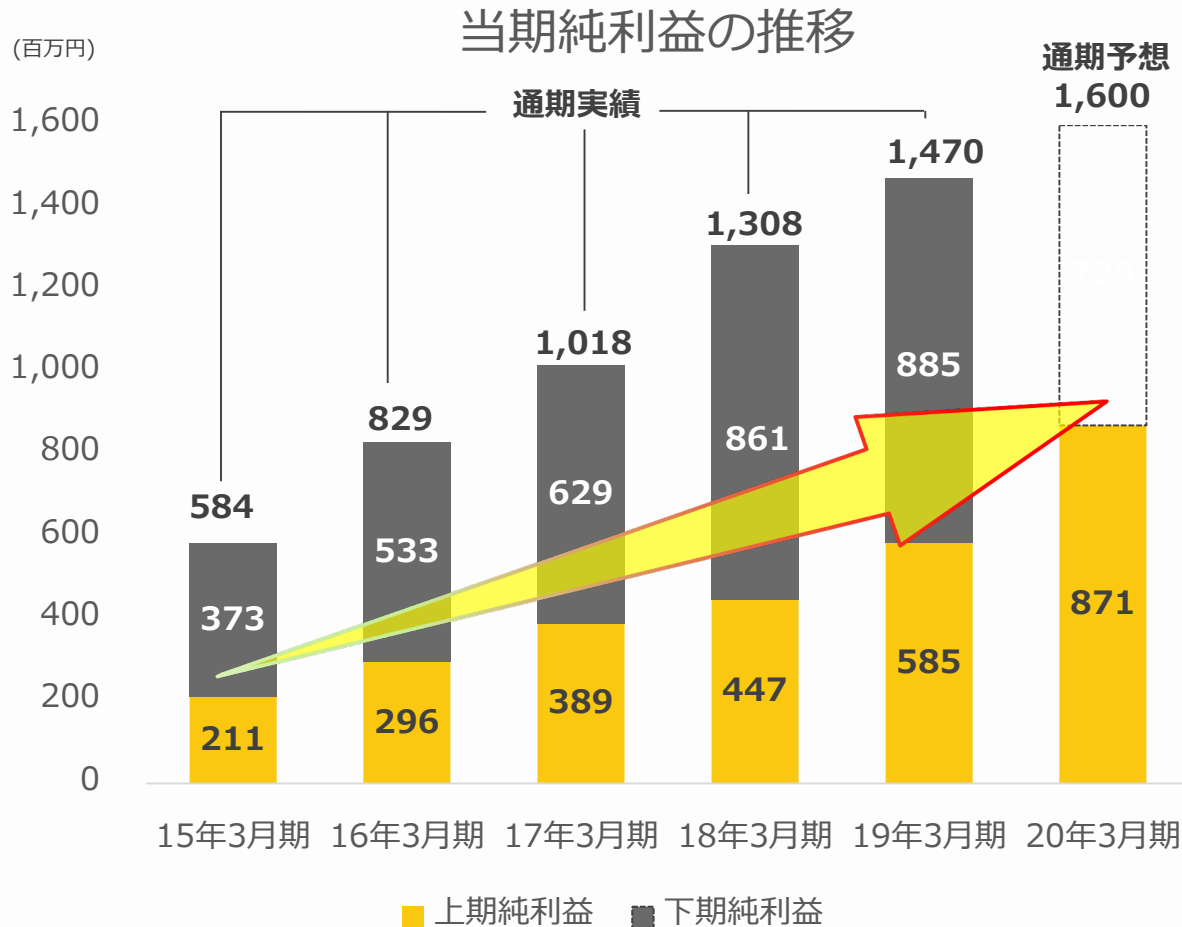
* 自己資本比率

19年3月期 43.2%

20年3月期 Q3 47.6%

中間配当の実施（配当予想の修正）

- ◆ 事業構造改革に伴う「ストック型ビジネスの拡大」が奏功したこと等を背景に、営業成績の季節性が解消。特に通期の当期純利益※に占める上期利益の絶対額が増加していることから、今期初めて中間配当を実施します。



20年3月期配当（予定）

| | 中間配当 | 期末配当 |
|------|------|------|
| 年初予想 | — | 27.0 |
| 修正予想 | 12.0 | 15.0 |

* 期末配当額については、通期業績の状況を見て再度検討を予定

<配当方針>

- 内部留保充実とのバランスを考慮
- 期末業績における配当性向20%以上

※親会社株主に帰属する当期純利益

2. 事業活動トピックス





a Hewlett Packard
Enterprise company



ハイパーコンバージド型のセカンダリストレージ「Cohesity」 オンプレミス環境とパブリッククラウドを統合的にマネジメント

さまざまなバックアップ環境を一元化することによる**コスト削減**や、AIやIoT導入などにより**増大するデータ**を、**集約かつ最適配置**することで**データの利活用**を実現。

セカンダリストレージ

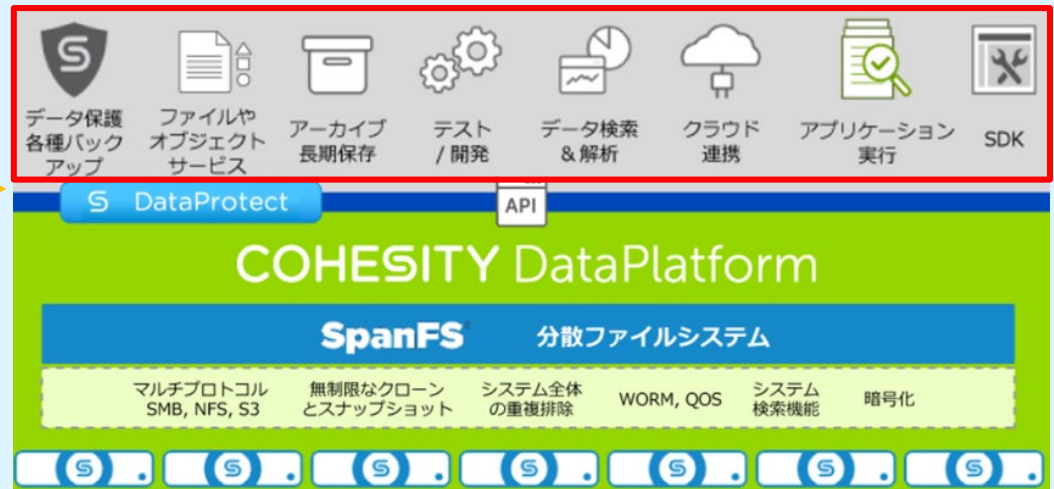
パブリッククラウドで
災害対策が可能



経済性の優れたパブリック
クラウドの活用が可能

クラウドとの
統合管理

様々なユースケースをオールインワンで提供する
単一プラットフォーム



プライマリストレージ

高速バック
アップ

フォアスカウト・テクノロジーズ社「Fore Scout Platform」 エージェント*レスでIT・IoT・OTデバイスの可視化とセキュリティ対策を自動化

*エージェント：利用者や他のシステムの代理として働いたり、複数の要素の間で仲介役として機能するソフトウェアやシステム

近年の企業のネットワーク：IoT機器/OT機器など多種多様なデバイスが接続
⇒一方で、IoT機器やOT機器を狙ったサイバー攻撃は日々増加

Point! ネットワークに接続する全てのデバイス情報を正確に把握し、
攻撃の対象を限定する対策や管理が求められている

< FORESCOUT®

- エージェントレスで、ネットワークに接続する全てのデバイスと状態を可視化
- 収集したデータをセキュリティポリシーと照合

デバイス検知



物理



VM
(Virtual Machines)

仮想

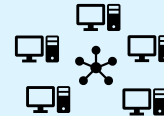
分類



Iot/OT



PC/
スマートデバイス



サーバー/
ネットワーク
デバイス

評価



接続許可



切断



隔離/警告/
修復

不適合デバイスを検出した場合、自動かつ強制的にネットワークから切り離し

NOBORI

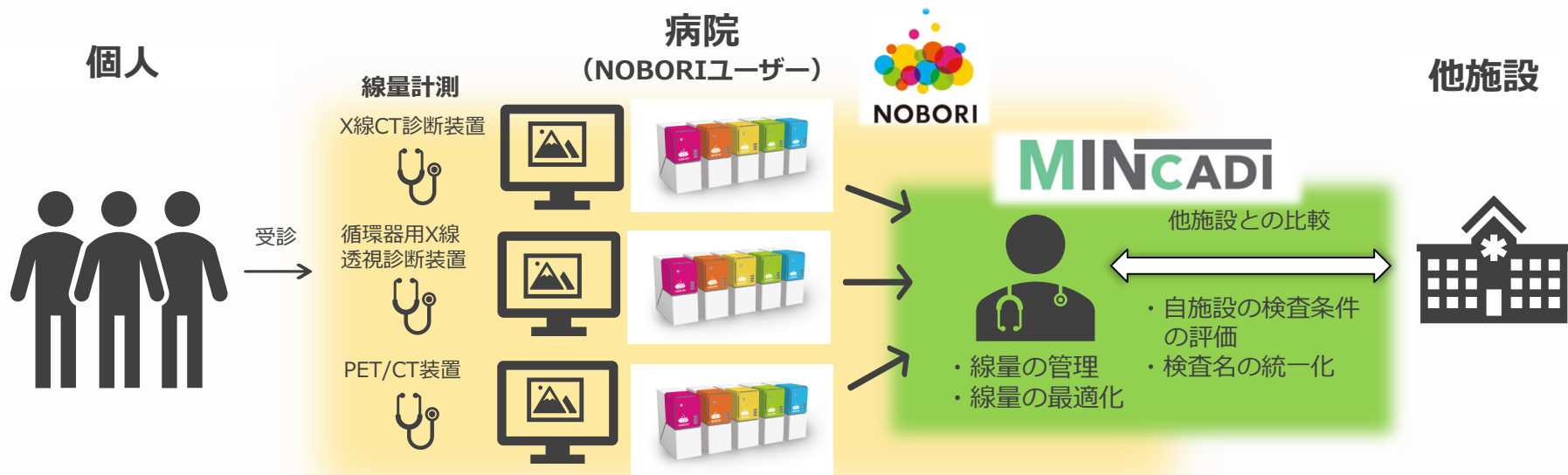
株式会社A-Lineが提供する医療被ばく線量の管理システム「MINCADI※」が「NOBORI PAL」へ追加

* MINCADI：医療画像やCTなど画像検査装置より得られる情報を自動取得し、患者毎の医療被ばく線量、検査毎の撮影条件を管理、最適化するソリューション

<医療分野における線量管理>

Point! 2020年4月1日 法改正による医療被ばくの線量記録および線量管理の義務化

(対象：X線CT診断装置、循環器用X線透視診断装置、PET/CT装置、SPECT/CT装置および診療用放射性同位元素)



■ NOBORIユーザーのメリット

新たなサーバ機器の設置・初期費用は不要⇒月額利用料のみで簡単に線量管理サービスを利用可能

29,960,000

「NOBORI」に画像を保管している患者数

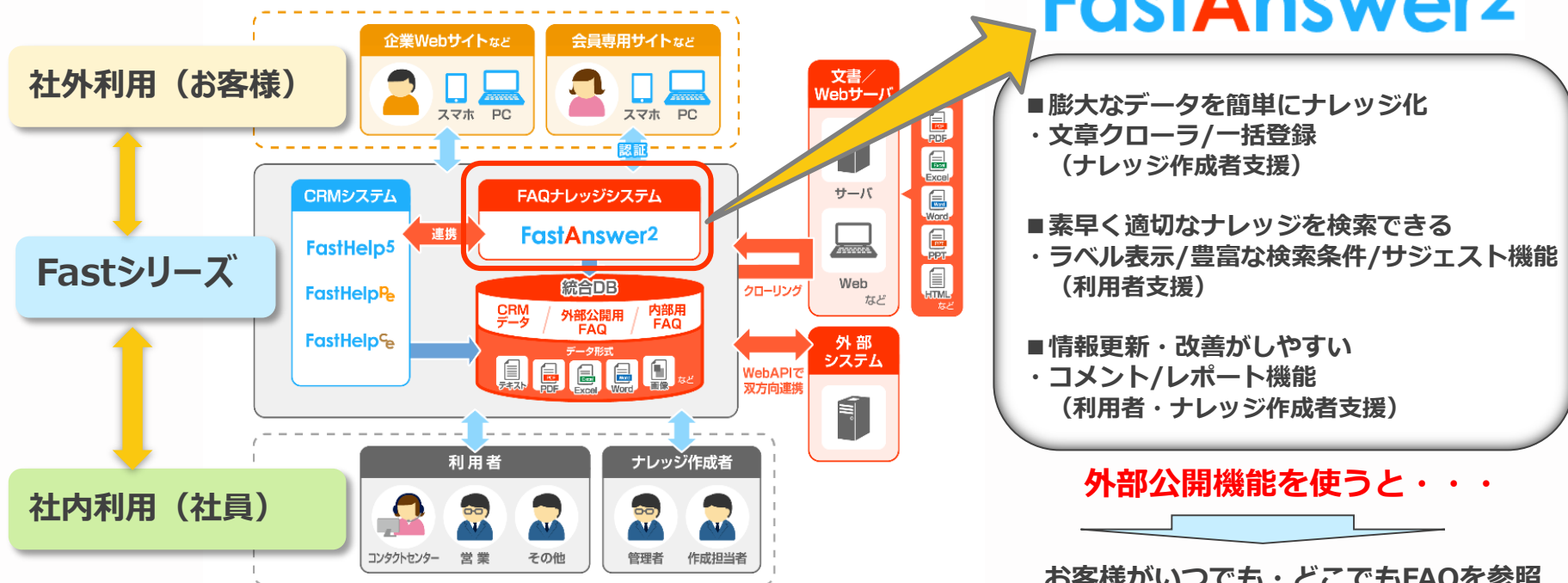
170,230,000

「NOBORI」に保存する検査件数

(2019年12月31日現在)

コンタクトセンターで利用されるFAQナレッジシステム 「FastAnswer2」の実績が順調に増加

- **FAQ**とは、よくある質問・想定される質問とその回答とを集めたもの
⇒ 「FastAnswer2」では、**外部公開用FAQ**（お客様用FAQ）と**内部用FAQ**（顧客対応時に参照するFAQや製品情報・規約集などの文書情報からなるFAQナレッジ）の**両用途に適用可能**



組み込みソフトウェアのコード解析・単体テストにおいて利用される
自動テストツール「Parasoft C++test」の販売が好調 (売上高2桁成長)

Point! 自動車業界は、100年に1度の大きな変革期

- ⇒CASE※への取組み対応に伴いソフトウェアの巨大化・複雑化が進行。
- ⇒自動車のソフトウェアの不具合は致命的であり、各企業は品質の高い車載ソフトウェアの開発を、いかに効率を高めながら行うかがポイントに。

※CASE: Connected (コネクテッド)、Autonomous (自動運転)、Shared & Services (カーシェアリングとサービス)、Electric (電気自動車)の頭文字をとった造語。

C++test : 開発工程の前半からツールを使用し、手戻りの少ない開発を支援
⇒静的・動的テストを開発プロセスに組み込み、開発の早い段階から品質向上の取り組み
: AUTOSAR※ やMISRA※ のコーディング規約へ対応

※AUTOSAR: 自動車業界共通の標準E/Eアーキテクチャを開発・確立するために発足した自動車業界のグローバル開発パートナーシップ。
※MISRA: 自動車・部品メーカー、エンジニアリングコンサルタントらで協働する組織。組み込みソフトウェアのガイドライン等を作成する。

<解析画面イメージ>



<静的・動的テスト>

| | | |
|-----------|----------------|---------------------------------|
| 静的 テスト | フロー解析 | ● バグを検出 |
| | コーディング規約チェック | ● コーディング規約違反を検出 |
| | メトリクス計測 | ● ソフトウェア品質を計測 |
| 動的 テスト | 単体テスト支援 | ● テストケース、スタブの作成 ● カバレッジの計測 |
| | アプリケーションモニタリング | ● 機能・結合テストの可視化 ● メモリ関連エラーの検出 |

UIテスト自動化ツール「Ranorex」がアプリケーション開発に重宝 前年同期比で売上高が2桁成長と好調

< Ranorex >

UI※上でのユーザー操作をキャプチャし、テストを作成することが可能

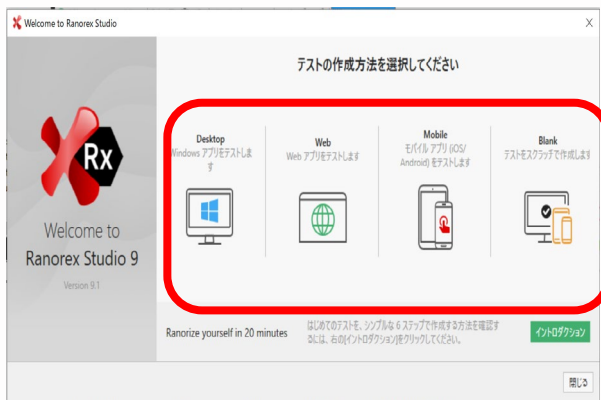
⇒操作性が高く、強力なUIオブジェクト認識能力を備えているため、プログラミング経験者でなくとも、データ駆動型テストなどの複雑なテストの組み立てが可能

※UI：ユーザーインターフェースの略。機器・ソフトウェアなどとその利用者の中で情報をやり取りする仕組みのこと。システムから利用者への情報提示・表示の仕方と、利用者のシステム操作・情報入力をする手段や方式、機器、使い勝手などの総体。

<Ranorex テスト作成画面イメージ>

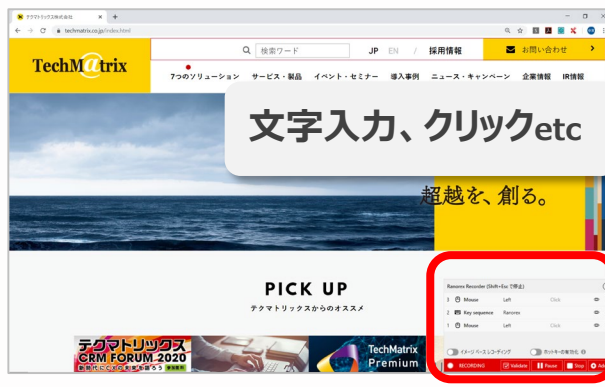
① 記録開始

ウィザードを使用して簡単に開始



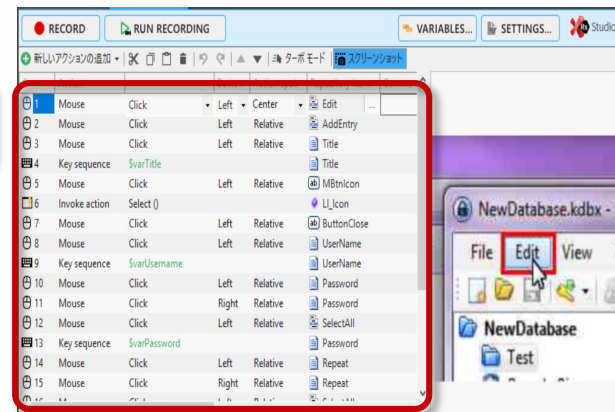
② 記録中画面

ユーザー操作を記録



③ テスト記録内容

操作手順通りのテストシナリオを生成



- ・デスクトップ（最新のOSや、多くのテクノロジーに対応）
- ・Web（IE/Chrome/Firefox/Edgeでのクロスブラウザーテスト）
- ・モバイル（Android/iOSの実デバイス上でのテスト）


- ・アプリケーション画面におけるマウス/キーボード操作を記録
- ・記録内容がリアルタイムで確認できるレコーダー

- ・メンテナンス性を考慮した使い勝手のよい編集画面

連結子会社カサレアルにおいて、新サービス
「Appleプロフェッショナルラーニング基礎インストラクター」を提供開始

「Appleプロフェッショナルラーニング基礎インストラクター」とは？

⇒Apple製品の基礎とそれらを授業に取り入れる方法についての
トレーニングを**教育者へ提供**します。（Apple認定組織に限る）

Point!  「新学習指導要領」により、2020年度から小学校・中学校・
高等学校で**プログラミング教育が必修化**



Apple認定組織のカサレアルが

- ◆ **教師のみなさん**のAppleデバイスやアプリケーションスキルの習得を**手助け**
- ◆ 学習、指導、導入、管理に関する目標を支援

子どもたちにプログラミングの楽しさを知ってもらえる環境作りを支援

未経験者向け



講師派遣による講義・
ハンズオントレーニング

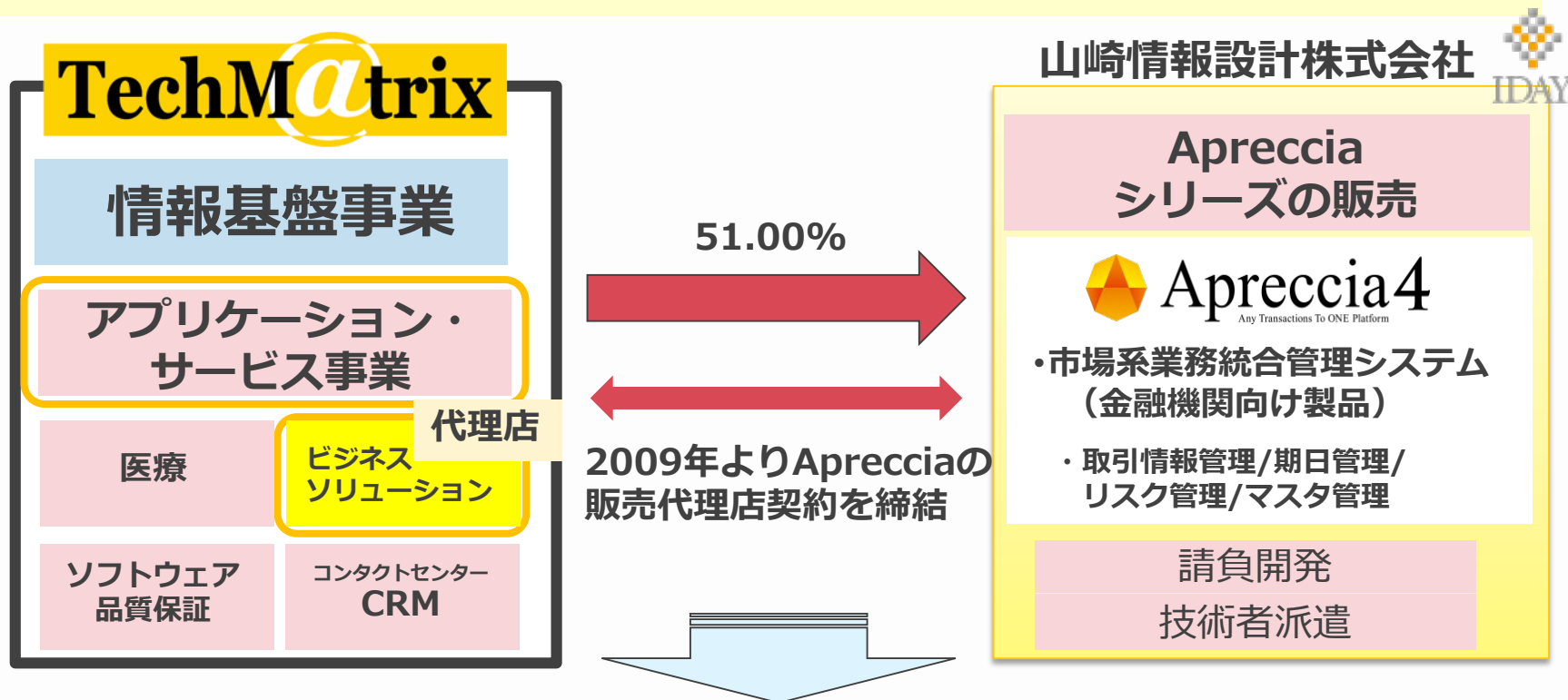
経験者向け



iOSアプリケーション
の開発体験セッション

山崎情報設計株式会社と、金融機関向け市場系システム分野で 資本・業務提携

山崎情報設計株式会社：
金融工学と情報技術の重なる領域でのシステム企画、設計に強み。市場系業務
統合管理システムのAprecciaシリーズを中心に事業を展開。



ビジネスソリューション事業における、金融分野のサービス推進を強化

| 日付 | 内容 |
|----|--|
| 4月 | 株式会社NOBORI、日本メジフィジックス株式会社と業務提携 |
| | 株式会社NOBORI、株式会社A-Lineと資本・業務提携 |
| | 沖縄クロス・ヘッド株式会社、インターネットを安全に利用できるインターネット分離を実現する新しいクラウドソリューションサービスを開始 |
| | 統合的なサポート&セキュリティサービスである『TechMatrix Premium Support powered by TRINITY』を7月より提供開始 |
| | リスクモンスターとテクマトリックス 人工知能（AI）活用によるRM 格付精度向上の実証実験を実施 |
| | テスト管理ツール「TestRail」の総販売代理権を取得 |
| | 「攻めのIT 経営銘柄2019」において「IT 経営注目企業2019」に選定 |
| 5月 | クロス・ヘッド、APNアドバンストコンサルティングパートナーの認定を取得 |
| | AIでコンタクトセンターの生産性を向上させるソリューションの提供開始 音声認識・自動要約とCRMシステムを連携 |
| 6月 | 沖縄クロス・ヘッド、JR九州システムソリューションズ株式会社と地域間データセンター連携の可能性についての共同検証を開始 |
| | カサレアル、JetBrainsとトレーニングパートナー契約を締結 |

| 日付 | 内容 |
|-----|---|
| 7月 | Cohesity Japanと販売代理店契約を締結 エンタープライズセカンダリストレージ『Cohesity C4000シリーズ』を販売開始 |
| | クロス・ヘッド、RPA活用に向けたトータルサポートサービス リリースのお知らせ |
| | イスラエル製 無害化ソリューション Votiro Cybersec Ltd. と代理店契約を締結 「Votiro Disarmer シリーズ」の販売を開始 |
| | 統合監視サービスのTPS (TechMatrix Premium Support powered by TRINITY) にインシデント対応支援サービスを拡充 |
| 8月 | カサレアル、教員向けにAppleプロフェッショナルラーニング基礎インストラクターのサービスを開始 |
| | クロス・ヘッド、顧客対応の生産性と満足度向上の実現に向け、Amazon Connectとkintoneを連携させるプラグイン製品の提供を開始 |
| 9月 | Java 対応テスト自動化ツール「Jtest 10.4.2」の販売を開始 |
| 10月 | バイナリ差分アップデートツール「RTPatch」の販売を開始 |
| | 沖縄クロス・ヘッド、株式会社オーシーシー共同によるインキュベート施設（那覇市IT創造館）向けITサービスの提供を開始 |
| | UIテスト自動化ツール「Ranorex 9.1.2」日本語版の販売開始 |
| | クロス・ヘッド、サイバーソリューションズ提供の「CYBERCHAT」とサイボウズ「Garoon」「kintone」との連携開発サービスを提供開始 |

| 日付 | 内容 |
|------------|--|
| 11月 | テクマトリックスとマカフィーがEDR事業領域において協業 |
| | 沖縄クロス・ヘッドが、富士ゼロックス社製 ドキュメント管理システム「DocuWorks 9」向けにファイルサーバ製品「nas2cloudコンボ」の提供を開始 |
| | 沖縄クロス・ヘッド、既存のファイルサーバ製品「nas2cloudコンボ」に損害保険付き新モデルの販売を開始 |
| | テクマトリックスと山崎情報設計株式会社、金融機関向け市場系システム分野で資本・業務提携 |
| 12月 | フォアスカウト・テクノロジーズ社「Forescout Platform」の販売を開始 |

3. 中期経営計画 「GO BEYOND 3.0」

TMX 3.0 の事業戦略は引き続き継続

- **クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進**
- **セキュリティ&セイフティ（安心と安全）の追求**

1 事業運営体制の多様化
（資本提携、業務提携、大学・研究機関との連携、オープンイノベーション）

2 サービス化の加速（全領域）

3 データの利活用（AIの利用を含む）

4 BtoC（消費者向けビジネス）への参入

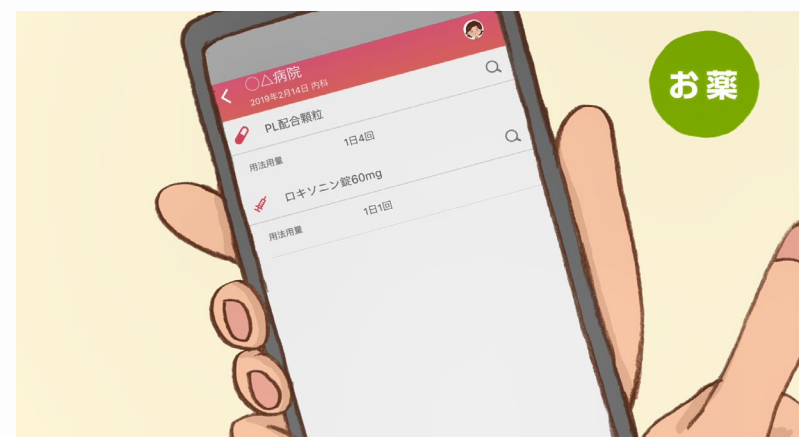
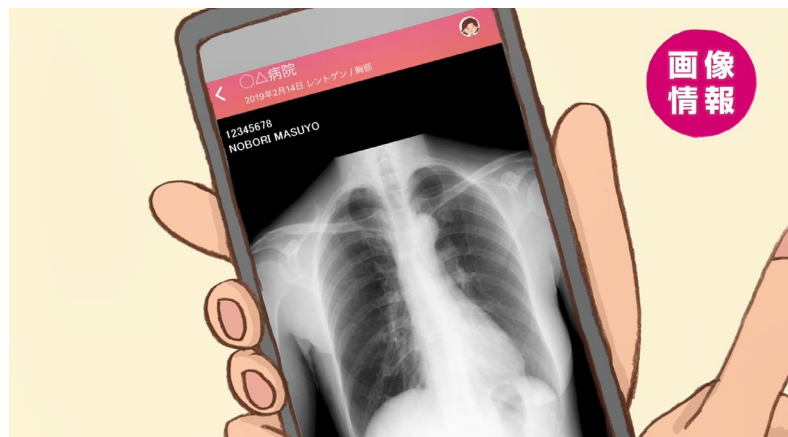
5 海外市場での事業を加速（市場探査モードから次のステップへ）

6 事業運営基盤の強化
（グループ横断・事業部門内での人財や技術の有効活用、各分野の融合による新しい価値の創出、人財への投資と次世代の育成、
企業理念に基づく採用・育成・評価・リテンション）

7 M&A（金庫株の活用を含む）

NOBORI

個人向け(患者向け)のPHR (Personal Health Record) サービス



TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

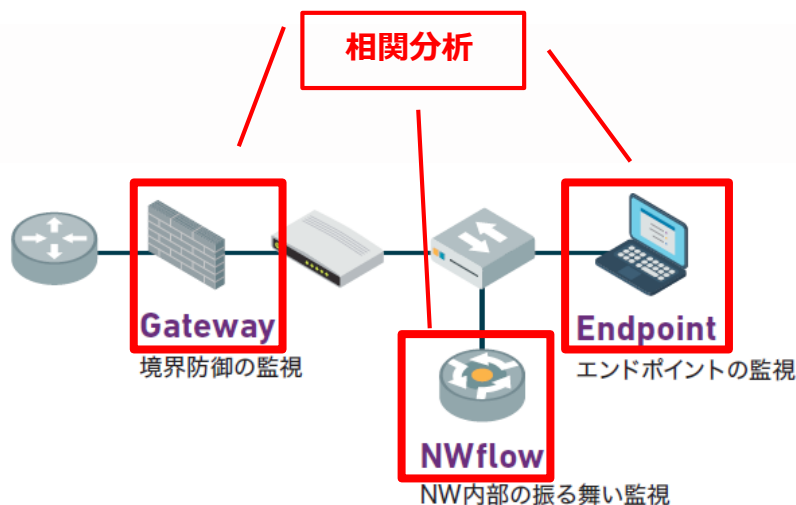
テクマトリックスが**独自開発**した、数百パターンに及ぶ脅威シナリオによって
相関分析を行う**セキュリティ統合監視サービス**

※TRINITY<トリニティ>は、ICT基盤の運用代行や監視を行うテクマトリックスの独自サービスです。

■従来のデバイス単体監視の課題

- 1) 従来の単一製品の監視では、事象に対して『**点**』の**分析**となってしまう。
- 2) **各製品毎**に運用担当者や監視ベンダが異なることで、調査や情報連携、**一次対応が遅延**してしまう。
- 3) 暗号化通信の増加や巧妙化した攻撃手法により、**監視・分析が困難な通信が増加傾向**にある。

■網羅的な統合セキュリティサービスを提供し『**点**』ではなく『**面**』で捉える

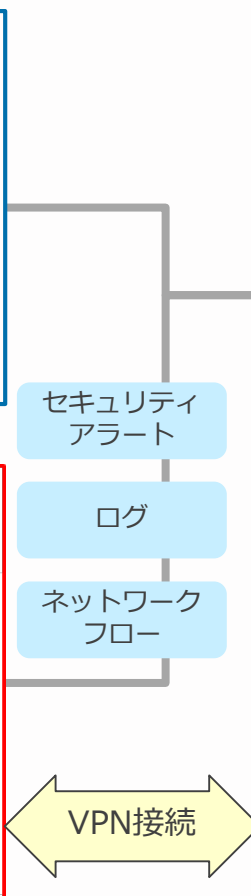
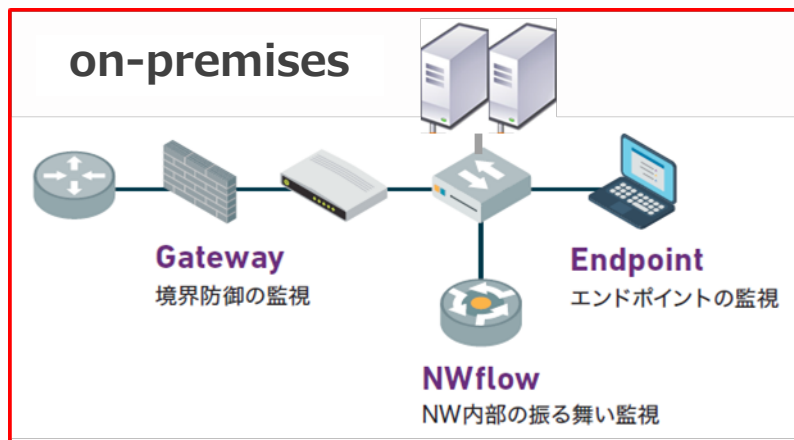
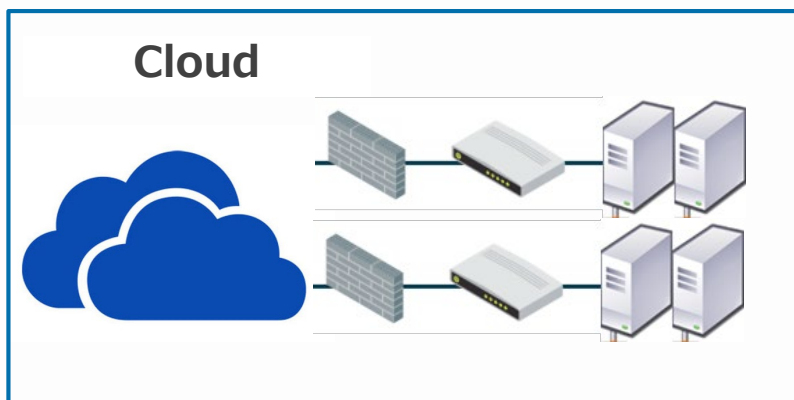


企業組織内のネットワークで発生する様々なセキュリティインシデントを『**点**』ではなく『**面**』で捉える
「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」
では、ゲートウェイ、ネットワーク内部、エンドポイントの3点を軸とした網羅的な統合セキュリティ監視と**相関分析**を行い、**未知マルウェア**に対するセキュリティ対策基盤の強化を実現します。

TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

「包括的な脅威の検出と可視化」と「セキュリティ運用の効率化」を提供し
未知のマルウェアに対する**セキュリティ対策基盤の強化**を実現します。

※TRINITY<トリニティ>は、ICT基盤の運用代行や監視を行うテクマトリックスの独自サービスです。



セキュリティアナリスト

セキュリティ監視

- ・複数製品の相関分析
- ・NWフローからの脅威・異常検出
- ・AIやマシンラーニングの活用

保守サポート

- ・ワンストップによる統合的な機器運用
- ・テクニカルサポート

セキュリティ研究

独自開発した最先端の脅威シナリオに基づき作成される相関分析ルールを活用したインシデントハンドリングを提供

TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

マカフィーとEDRの事業領域において協業を開始

～インシデント対応支援サービスにマカフィー提供の「McAfee MVISION EDR」を追加

※TRINITY<トリニティ>は、ICT基盤の運用代行や監視を行うテクマトリックスの独自サービスです。

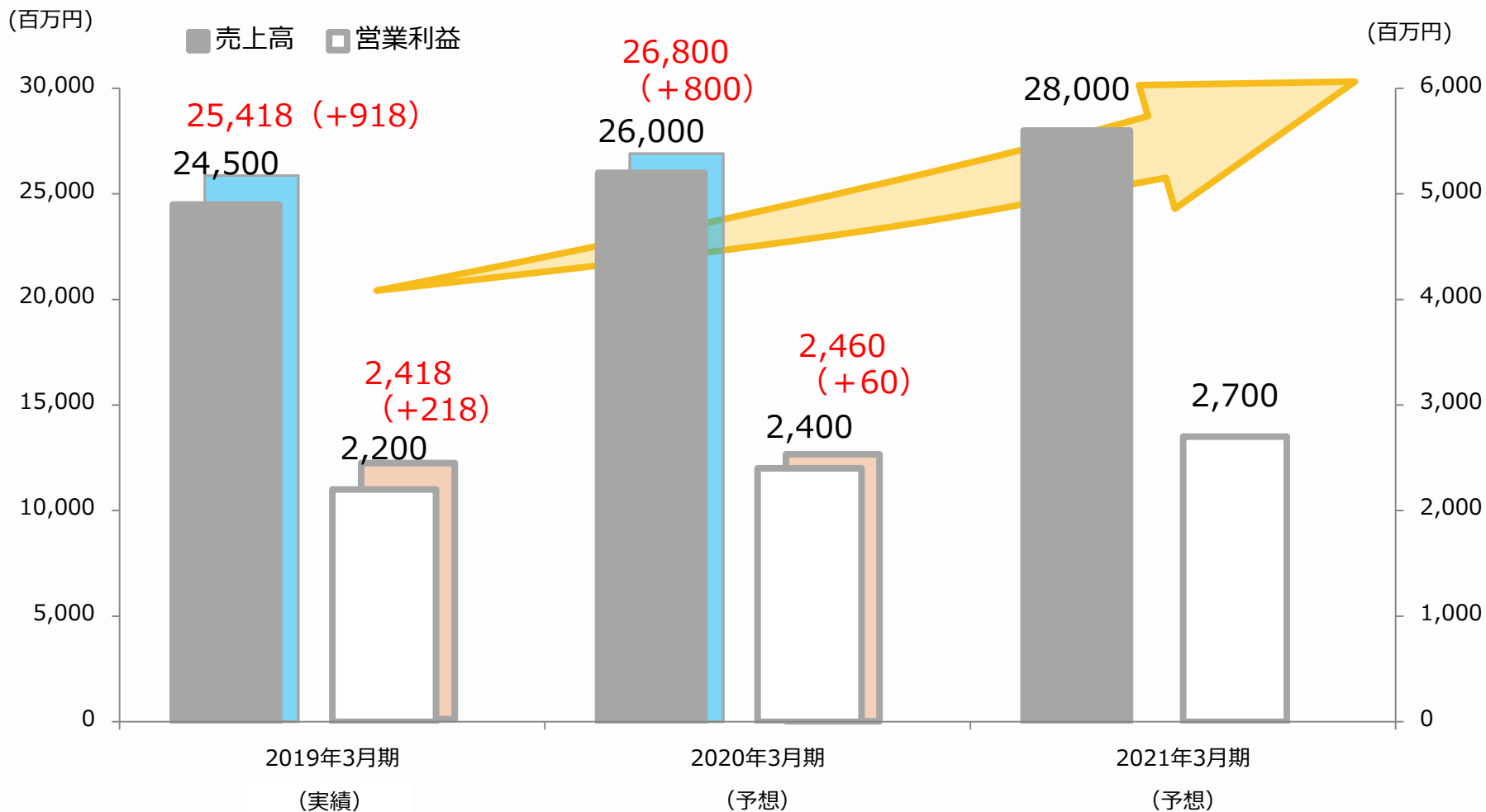


Point! 監視センターのセキュリティアナリストが能動的にMVISION EDRを操作し、初動調査と一次対応を行うことでセキュリティ運用の基盤強化を実現

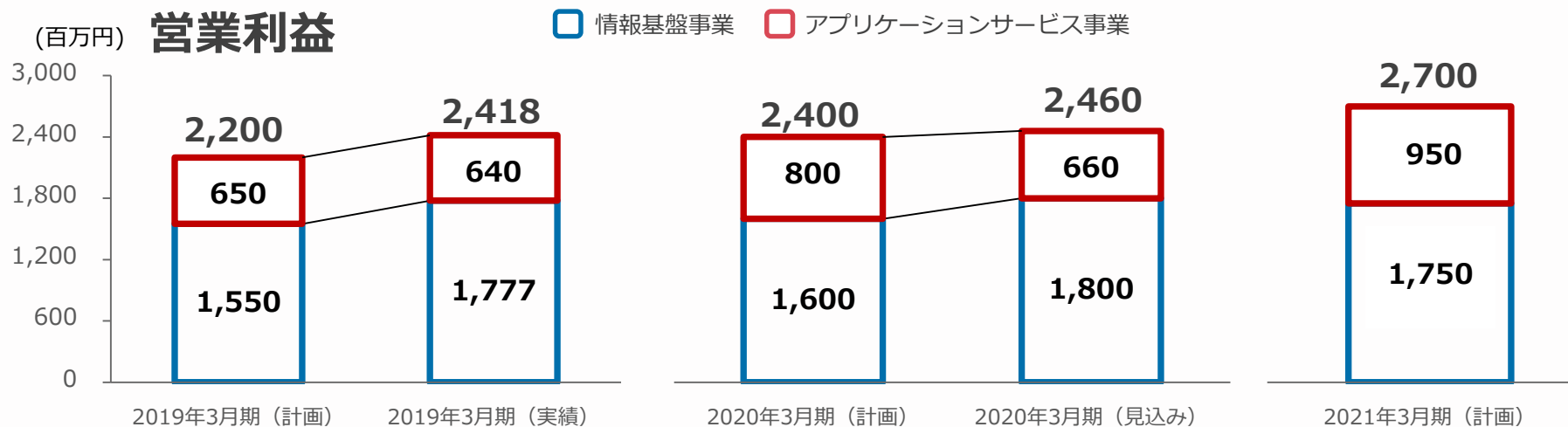
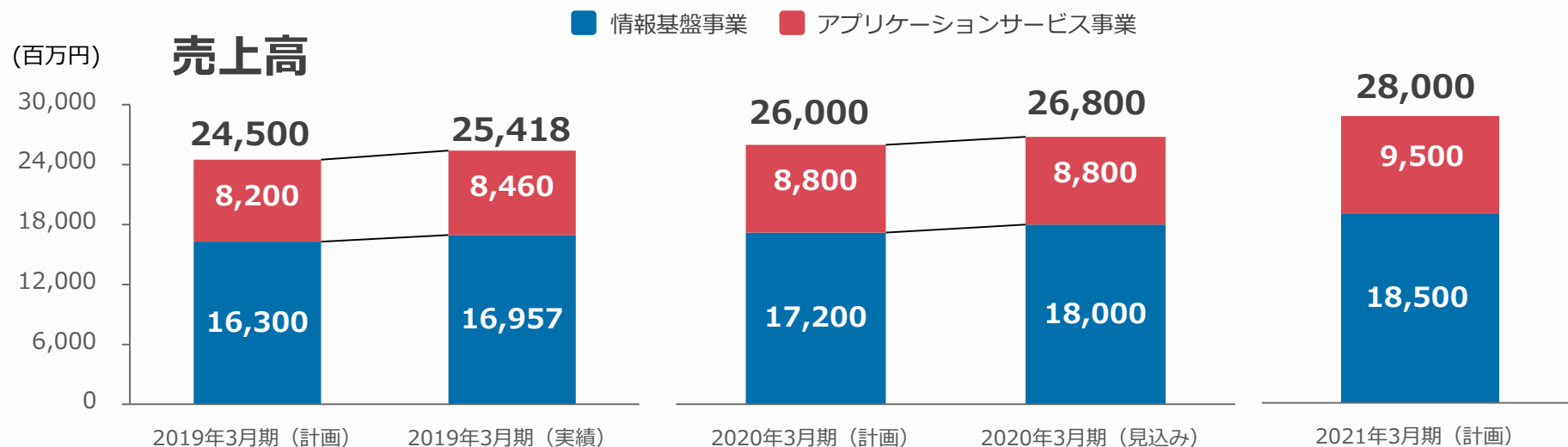
【概要】

- 統合セキュリティ監視を通じて各イベントアラートを収集
- MVISION EDRから挙がってくるイベントアラートを相関分析
- 解析を踏まえ、インシデント通知を発報する場合に、監視センターのセキュリティアナリストが能動的にMVISION EDRを操作

売上高・営業利益ともに成長を継続



GO BEYOND 3.0の計画値と実績（見込） ※連結



情報基盤事業

| 19年3月期～21年3月期（予想） | |
|-------------------|-----|
| 売上高 CAGR (%) | 5.3 |
| 営業利益 CAGR (%) | 4.1 |

| 21年3月期（予想） | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 営業利益率 (%) (35期実績) (34期実績) | 9.5 (10.5) (9.8) |

※事業構造の積極的転換・差別化のための独自付加価値サービスの創出に注力

アプリケーション・サービス事業

| 19年3月期～21年3月期（予想） | |
|-------------------|------|
| 売上高 CAGR (%) | 7.4 |
| 営業利益 CAGR (%) | 39.6 |

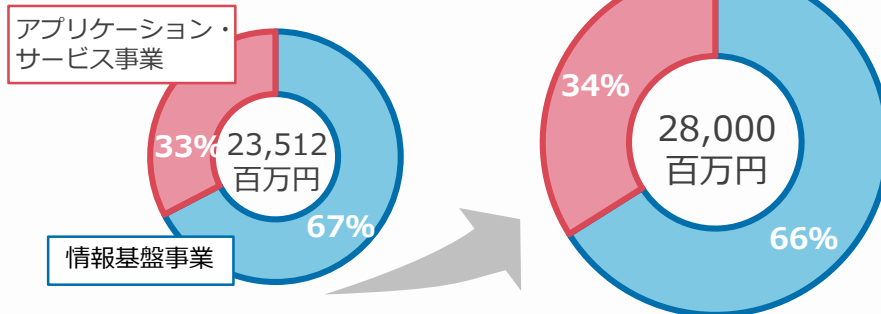
| 21年3月期（予想） | |
|---------------------------------|------------------------|
| 営業利益率 (%) (35期実績) (34期実績) | 10.0 (7.6) (4.5) |

※ストック型ビジネスの伸長による収穫期への移行

売上高

2021年3月期（予想）

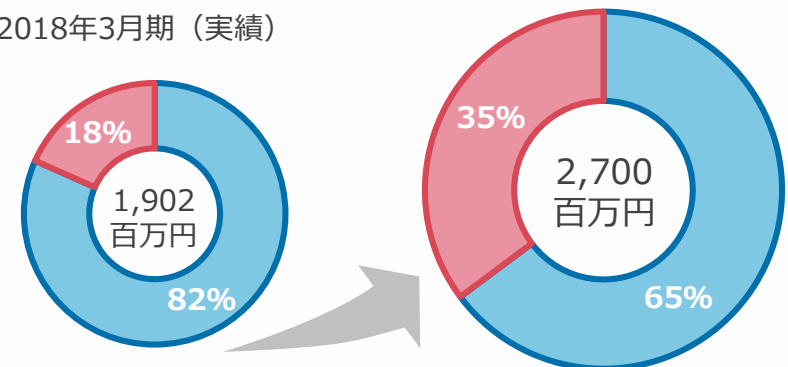
2018年3月期（実績）



営業利益

2021年3月期（予想）

2018年3月期（実績）





より良い未来を創造する ITのプロフェッショナル集団



4. 当社のビジネスモデル（ご参考）

Point! 医療施設で撮影されたCT、MRI画像等の医療情報を安全に保管・利用できるクラウドサービス「NOBORI」の提供

初期投資ゼロ！ IT技術者確保不要！ スペース確保不要！



- 低価格・短期間で導入できるNOBORIにより医療クラウドサービス市場において先行
- 大規模病院の成約に加え、パートナー営業強化により、今後も契約数は順調に推移する予定
- NOBORIユーザが利用できる、検査予約サービス等のアプリケーションをNOBORI PALで提供

Point!

顧客企業の優位性を高める
コンタクトセンターCRMシステムを提供

- 商品の問い合わせ
- 購入後の問い合わせ



商品

様々な方法での
問い合わせ



FAX



電話



LINE



E-Mail



WEB

FastHelp5



購入履歴や
過去のFAQ等を
一元管理

お客様情報を
瞬時に検索!



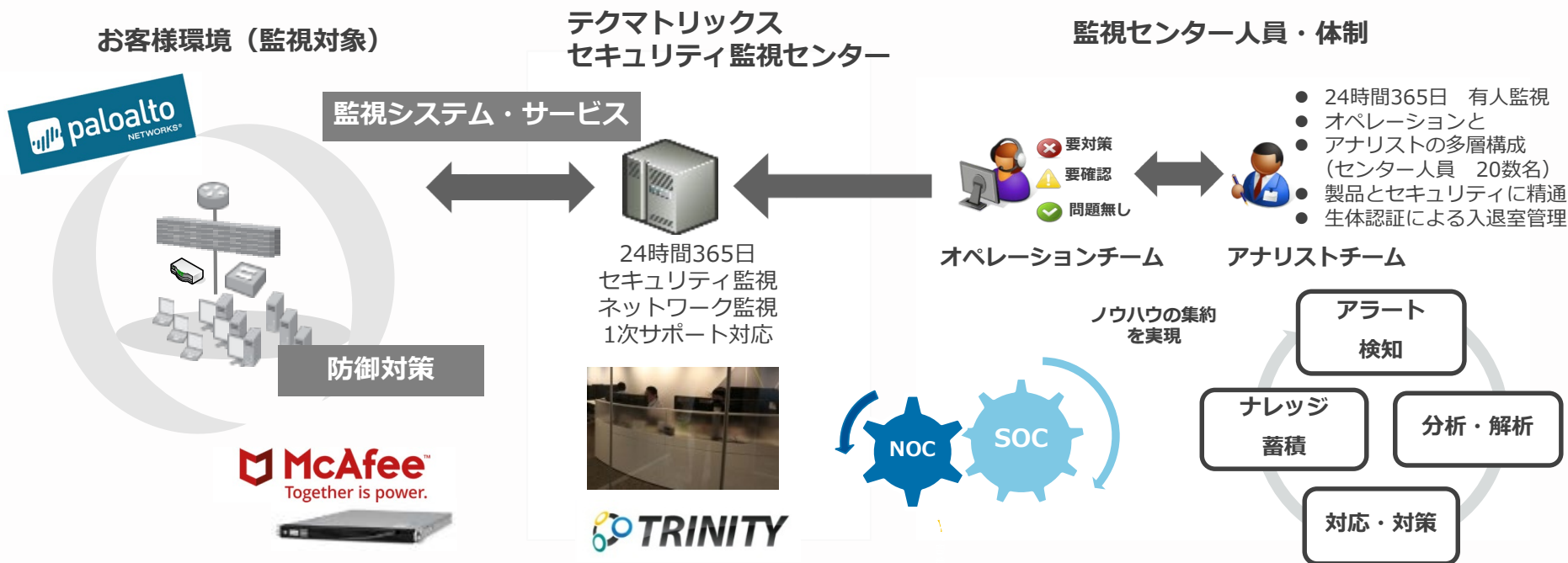
お客様の要望に
すぐ対応!

顧客満足度UP!



Point!

より深く より詳細に 機器を活かす テクマトリックスのワンストップソリューション



ワンストップソリューション

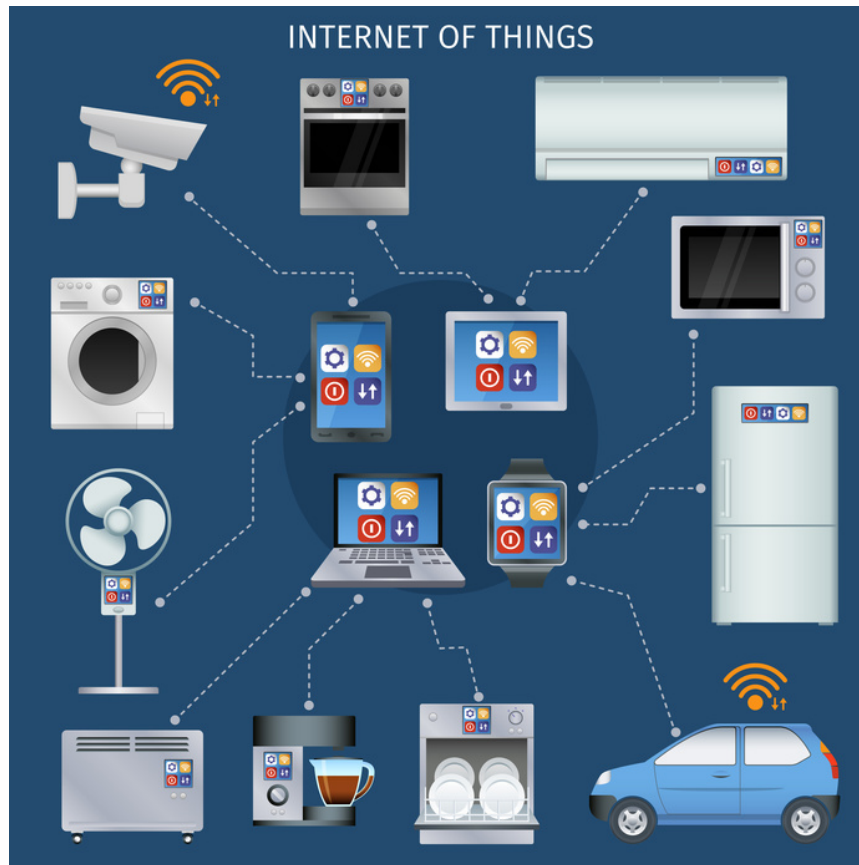
設計・構築・保守 (サポート連携による迅速な障害解決) ・ 機器運用・セキュリティ監視・活用提案をワンストップで提供。

より深く より詳細に サービスを創出

情報セキュリティ専門ベンダでは、多種多様な製品を監視するため、サービスの内容が浅く広くなりがち。当社では、お客様が当社より購入したセキュリティ製品の進化する各種機能を最大限活用した監視サービスを提供。

Point!

IoT : あらゆる物がインターネットに接続し、あらゆる物がソフトウェアで制御されているあらゆる物がサイバー攻撃の対象 ソフトウェアの不具合排除が課題



- ▶ テスト、設計、構成管理などに関するソリューション
- ▶ 開発プロセスを実行するインフラ構築、トレーニング、運用支援
- ▶ 本質的な品質改善、生産性向上につながる改善支援

ソフトウェア品質の向上
ソフトウェア安全規格対応

構造分析

既存のコードを解析し
ソフトウェアの構造を可視化

アーキテクチャ
分析

コード構造
分析

影響度分析

リアクタリング
支援

コード解析・単体テスト

開発中のコードから
問題を早期に発見

バグの検出

コードの保守
性

単体テスト支
援

カバレッジ
計測・分析

機能テスト

UIのテスト自動化
APIのテストおよび仮想化

UIテスト

負荷テスト

APIテスト

サービス
仮想化

ソフトウェア開発基盤

早期リリース/プロジェクト
管理の基盤を提供

テスト管理

構成管理

CI/CD

プロジェクト
管理

オープンソースソフトウェア管理

OSS利用時のリスクを可視化

利用ライセン
スの検出

脆弱性検出

構造分析

- アーキテクチャ分析ツール
Lattix
- ソースコード解析ツール
Understand

コード解析・単体テスト

- C/C++/Java/.NET対応 自動テストツール
Parasoft C++ test
Parasoft Jtest
Parasoft dotTEST
- C/C++対応 自動エラー検出ツール
Parasoft Insure++

機能テスト

- UIテスト自動化ツール
Ranorex
- APIテスト自動化ツール
Parasoft SOAtest
- サービス仮想化ツール
Parasoft Virtualize
- Web・モバイル向け負荷テストプラットフォーム
NeoLoad

ソフトウェア開発基盤

- CI/CDのための組織的な利用に最適化したJenkins
CloudBees Jenkins
- RedmineのPM/PL業務向け機能拡張プラグイン
Lychee Redmine
- 構成管理・変更管理ツール
AccuRev
- テストケース管理ツール
TestRail

オープンソースソフトウェア管理

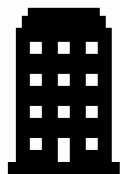
- ライセンスの把握、脆弱性、OSSのリスクを可視化
FOSSID

SOLUTION

Point!

皆様の金融資産を預託・運用している、様々な金融機関の安全性を保つためのリスク管理システムを提供

個人や企業の
金融資産



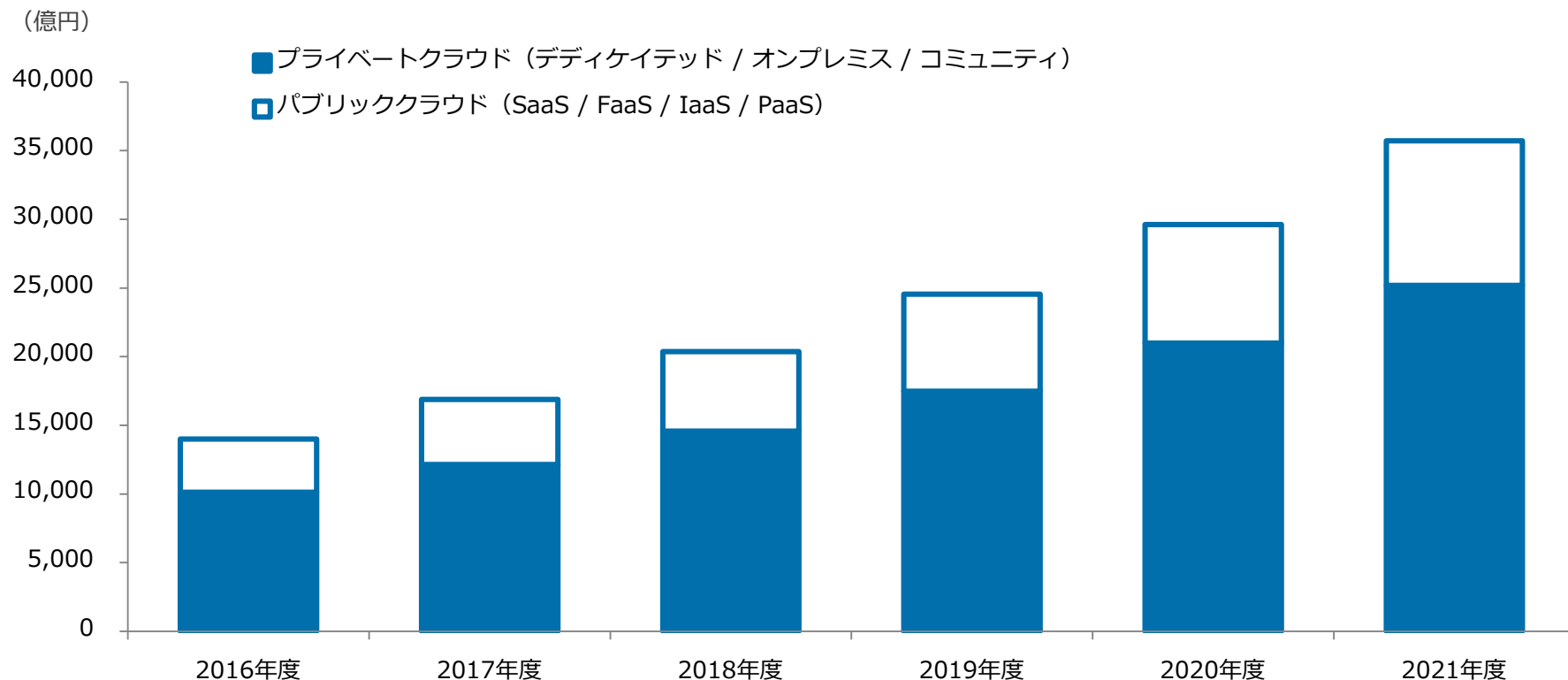
市場リスク、信用リスク、
価格変動リスク、為替変動
リスクが潜在



金融資産（ポートフォリオ）
に対する様々なリスクを多角
的に計測

5. 市場環境（ご参考）

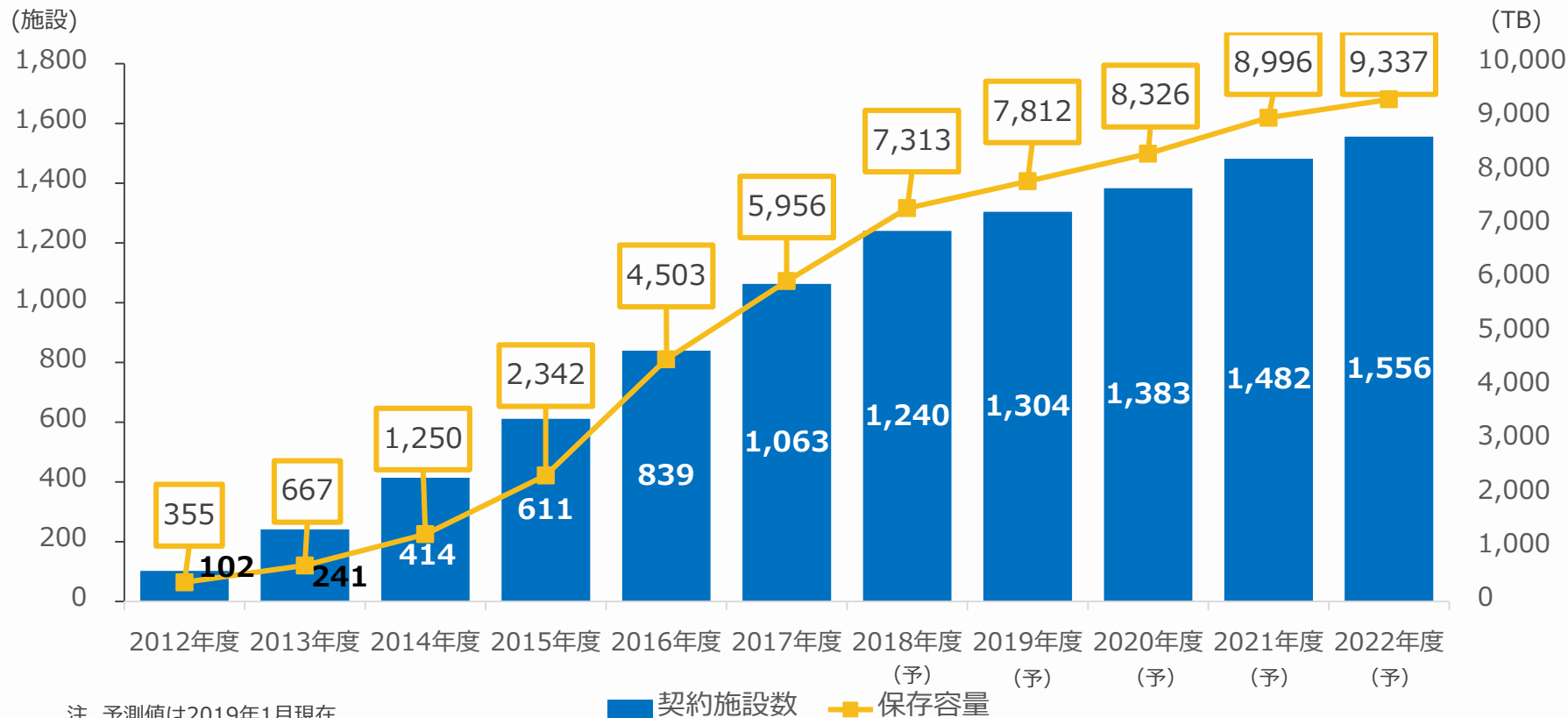
国内クラウドサービス市場規模 実績・予測



◆ 2016年度の国内クラウド市場は1兆4,003億円（前年度比38.5%増）、2021年度は3兆5,713億円規模まで拡大すると予測

* 出所：MM総研「国内クラウドサービス市場規模 実績・予測」（2017年12月27日）

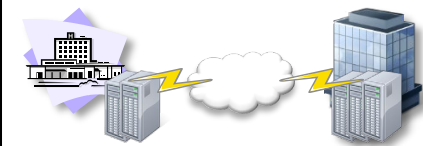
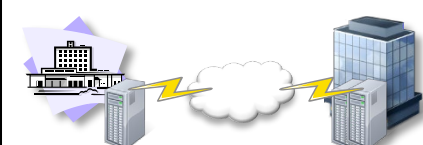


クラウドPACS市場規模予測



- ◆2019年度でのクラウドの国内契約施設数（予測）は1,304。契約施設数は堅調に推移
- ◆テクマトリックス「NOBORI」の契約施設数：2018年度実績は累計約950施設

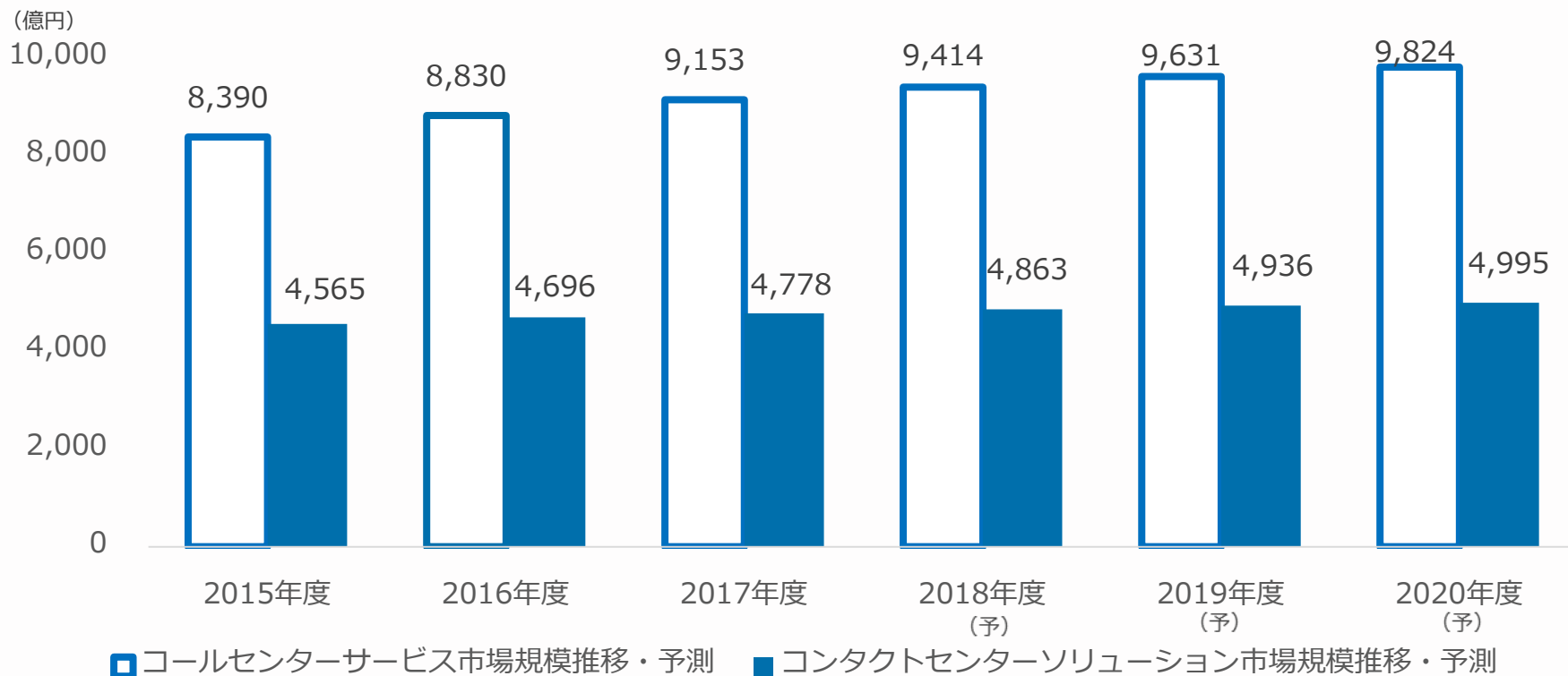
* 出所：矢野経済研究所「2018年版医用画像システム（PACS）・関連機器市場の展望と戦略」（2019年1月）

クラウドPACSの分類

| 外部保存型クラウドの分類 | 形態 | 特徴 | 構成イメージ | NOBORI |
|--------------|---|--|--|--|
| TYPE 1 | 短期/長期とも院内サーバ + 外部保存（全データを院内と外部データセンターに2重保存） | 院外でのデータバックアップ機能の追加。既存システムに追加のコストが発生。 |  | — |
| TYPE 2 | 短期は院内サーバ + 長期は外部保存 | 比較的使用頻度の高いデータを院内保存。既存システムに追加のコストが発生。 |  | — |
| TYPE 3 | 院内サーバ設置なし + 外部保存型（院内はキャッシュのみなど） | 導入コスト + 院内サーバ不要なため、低価格で。大規模施設に加え、小規模施設で急速に普及する可能性。 |  |  |

◆テクマトリックスは、TYPE 3 に当たる医療情報クラウドサービス「NOBORI」を提供

コールセンターサービス市場/コンタクトセンターソリューション市場規模予測

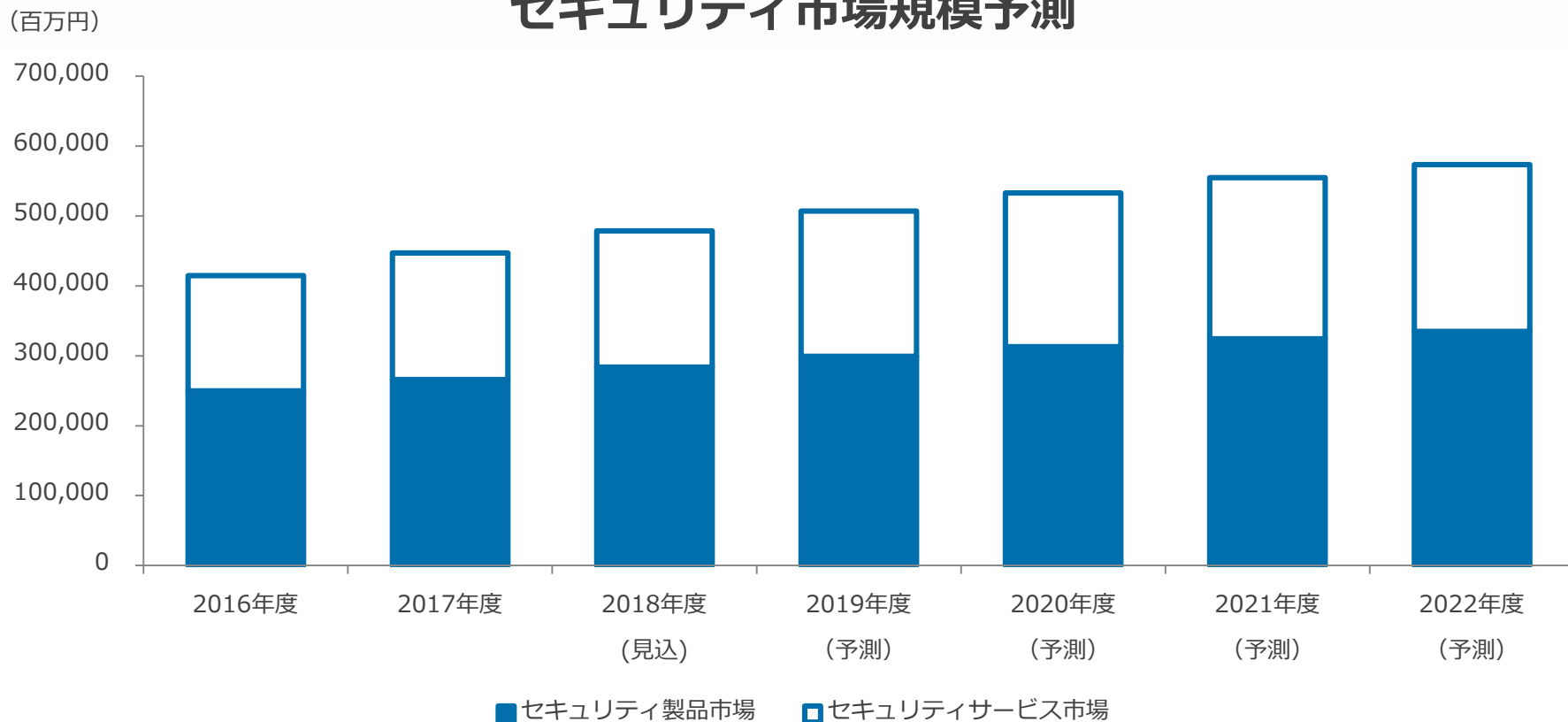


注：事業者売上ベース、予測値は2018年10月現在

- ◆ 2015年度から2020年度までのコールセンターサービス市場は年平均成長率3.2%で推移し、2020年度には9,824億円になると予測
- ◆ 2015年度から2020年度までのコンタクトセンターソリューション市場規模は年平均成長率1.8%で推移し、2020年度には4,995億円に達すると予測

* 出所：矢野経済研究所「コールセンターサービス市場/コンタクトセンターソリューション市場の調査（2018年）」

セキュリティ市場規模予測



◆国内のセキュリティサービス・製品市場は、2017年度の4,471億円から、2022年度は5,735億円に拡大の予測

◆平均成長率は5.1%の高い成長率を予測

* 出所：(株)富士キメラ総研「2018ネットワークセキュリティビジネス調査総覧（上巻）」



<本資料の取り扱いについて>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあり得ます。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

<お問合せ先>

テクマトリックス株式会社 経営企画課 TEL:03-4405-7802 ir@techmatrix.co.jp